

8/10-16#2 神聖な啓示の最高峰に到達する:

1. 神が私たちに与えた神聖な啓示の最高峰は、神の永遠のエコノミーの啓示です。それは、神が人と成ったのは、人が神格においてではなく命と性質において神となるためであるということです。A 神の永遠のエコノミーの説明である全聖書は、永遠の二つの区分と時間の架け橋において見られる、三一の神の自叙伝です。1 三一の神は永遠から時間の中へと入って来て、彼の神性を伴って人性の中へと入り、肉体と成った神となりました。それは人における神の直接の行動のためであり、四福音書において見られ、神の法理的な贖いを完成するためでした。ヨハネ1:14 そして言は肉体と成って、私たちの間に幕屋を張られた。2 彼は復活において複合の神、「手順を経た」神、すなわちすべてを含む、命を与える霊と成りました。それは使徒行伝と書簡において見られ、彼の有機的な救いを完成するためでした。1 コリント15:45 最後のアダムは、命を与える霊と成ったのです。3 未来の永遠において、彼は団体の神、新エルサレムとなります。それは啓示録21章と22章において見られます。啓21:2 私はまた聖なる都、新しいエルサレムが、夫のために着飾った花嫁のように整えられて、天から出て神から下って来るのを見た。4 手順を経て究極的に完成された三一の神と、再生され、造り換えられ、栄光化された信者たちとの、宇宙的な、神性と人性の合併は、神の永遠のエコノミーの目標です。5 神の中心的な啓示と主の回復とは、神が肉体と成り、肉体が命を与える霊と成り、命を与える霊が七倍に強化された霊と成って、召会を建造し、それがキリストのからだとなり、新エルサレムを究極的に完成するということです。B 神が人と成ったのは、人が神格においてではなく命と性質において神となるためです。これは、全聖書の本質、聖書という「箱」の中の「ダイヤモンド」であり、神の永遠のエコノミーです。1 神は肉体と成ることを通して人と成り、人の人性にあずかりました。人は造り換えを通して神となり、神の神性にあずかります。a 神の命にあずかる。コロサイ3:4 私たちの命なるキリストが現される時、あなたがたも、彼と共に栄光のうちに現されます。b 神の性質にあずかる。2 ペテロ1:4 彼はその栄光と美德を通して、尊く、際立って偉大な約束を、私たちにすでに与えてくださっています。それは、これらの約束を通して、あなたがたが...神聖な性質にあずかる者となるためです。c 神の思いにあずかる。ピリピ2:5 キリスト・イエスの中にあつたこの思いを、あなたがたの内側でも思いとしなさい。d 神の存在にあずかる。2 コリント3:18 しかし、私たちはみな、主の

栄光をおおいの顔をもって、鏡のように見つめ、そして反映して、栄光から栄光へ、主と同じかたちへと徐々に造り換えられていきますが、それはまさに主なる霊からです。e 神のかたちにあずかる。ローマ8:29 なぜなら、神はあらかじめ知っておられた者たちを、御子のかたちに同形化しようと、あらかじめ定められたからです。それは、御子が多く兄弟たちの間で長子となるためです。f 神の栄光にあずかる。ローマ8:30 そして神はあらかじめ定めた者たちを、さらに召し、そして召した者たちを、さらに義とし、そして義とした者たちを、さらに栄光化されました。g 神の子たる身分にあずかる。ローマ8:23 そればかりではなく、その霊の初穂を持つ私たち自身も、自らの内でうめきながら、子たる身分、すなわち、私たちの体の贖いを、熱心に待ち望んでいるのです。h 神の出現にあずかる。ローマ8:19 被造物は切なる期待をもって、神の子たちの出現を熱心に待ち望んでいます。i 神の様を持つ(神のようになる)。1 ヨハネ3:2 愛する者たちよ、今や、私たちは神の子供たちです。私たちがどのようになるかは、まだ明らかにされていません。彼が現れるなら、私たちは彼のようになることを知っています。なぜなら、私たちは、彼がそうであるように、彼を見るからです。j 神類、神の種類となる。ローマ8:16 その霊ご自身、私たちの霊と共に、私たちが神の子供たちであることを、証ししてくださいます。2 この神と人のロマンスは全聖書の主題、神のエコノミーの内容、全宇宙の秘密です。II. 神聖な啓示の高嶺、聖書という「箱」の中の「ダイヤモンド」は、一つの啓示、すなわち、神がキリストの中で人と成ったのは、人が神格においてではなく命と性質において神となるためであるということです。エペソ3:17 またキリストが、信仰を通してあなたがたの心の中に、ご自身のホームを造ることができますように。A 「神が人と成り、人が神となる」ということが神のエコノミーです。1 テモテ1:4 作り話や果てしのない系図に、心をとめたりすることがないように命じなさい。そのようなものは、信仰の中にある神のエコノミーではなく、むしろ論議を引き起こすだけです。B 神の永遠のエコノミーとは、人を神格においてではなく命と性質において神であるのと同じにし、ご自身を人と一にし、人を神と一にして、彼の表現において拡大し拡張し、彼の神聖な属性のすべてが、人性の美德において表現されるようにするということです。エペソ1:10 時代の満了時のエコノミーへ至るためです。すなわち、キリストの中で、天にあるもの地にあるもの、すべてのものを、彼の中でかしらにつり上げようとされたのです。3:9 それはまた、万物を創造された神の中に、各時代にわ

たって隠されてきた奥義のエコノミーが何であるかを、すべての人を照らして明らかにするためであり、**1**神の大いなる喜びとは、人と一になり、人を神格においてではなく命と性質において神であるのと同じにすることです。**1:5** みこころの大いなる喜びにしたがい、イエス・キリストを通して、私たちを子たる身分へと、彼ご自身へあらかじめ定められました。**2**神が人と成ったのは、ご自身の大量の複製を持ち、それによって新しい種類、神・人の種類を生み出すためでした。**ヨハネ12:24** まことに、まことに、私はあなたがたに言う。一粒の麦が地に落ちて死ななければ、それは一粒のままである。しかし、それが死んだなら、多くの実を結ぶ。**C**神のエコノミーの成就のために、私たちが必要とするのは、神がご自身をキリストの中で私たちの命、性質、構成として私たちの中へと建造して、私たちを神格においてではなく命と性質において神とすることです。**D**神が人と成ったのは肉体と成ることを通してでした。人が神となるのは、再生、聖別、更新、造り変え、同形化、栄光化を通してです。**III. 神が人と成り、人を神とすることによってのみ、キリストのからだは生み出されることができます。この点が、神が私たちに与えたビジョンの高嶺です:****A**神が人と成って人を神としたのは、キリストのからだを生み出すためでした。このからだは三一の神の有機体であり、その究極の現れは新エルサレムです。**B**聖書は、人がどのようにして神となって神・人の生活をし、それによって神の有機体となることができるのかを見せています:**ローマ1:3** 彼の御子に関するものです。この方は、肉によればダビデの子孫から生まれ、**4** 聖別の霊によれば、死人の復活から、力の中で神の御子と明示された私たちの主イエス・キリストです。**1**この有機体は、神がご自身を人と結合しミングリングして、人を神とするものです。**2**神が人と成り人が神となった結果は一つの有機体です。この有機体はキリストのからだ、すなわち神と人の結合とミングリングです。**C**神は彼の御子を遣わし、御子は人と成り、神聖な命によって神・人の生活をしました。そのような生活の結果は、神であるのと全く同じである宇宙的な人、すなわち神聖な命によって神・人の生活をする団体の人です。**ローマ12:4** 一つの体の中には多くの肢体があり、そしてすべての肢体が同じ機能を持っていないように、**5** 私たちも数は多いのですが、キリストの中で一つからだであり、そして各自は互いに肢体なのです。**D**キリストのからだの実際は、神と人の結合とミングリングであり、団体の神・人を生かし出すことです。

証:II. 神聖な啓示の高嶺、聖書という「箱」の中の「ダイヤモンド」は、一つの啓示、すなわち、神がキリストの中で人と成ったのは、人が神格においてではなく命と性質において神となるためであるということです。**III. 神が人と成り、人を神とすることによってのみ、キリストのからだは生み出されることができます。この点が、神が私たちに与えたビジョンの高嶺です。**私はこれらの言葉を聞いた時、自分の観念と余りにもかけ離れているので、どのように受け入れたらいいのかわかりませんでした。しかし、これらの聖書の根拠を祈り読む時、自分の観念はハックアウトされました。更に、これらのOLと根拠の聖書を祈りながら考慮している時、徐々に知恵と啓示の霊が与えられ、真理の高嶺を理解し始めました。しかしながら、実際生活に戻ると、サタンは何度も次のように攻めてきました、「あなたの実生活を見てみなさい。人が神となるのは不可能である」。私は少し混乱してしまいました。そのような状況下で、実際的な召会生活の問題を対処しなければならない時、自分自身と聖徒たちの状況を主の御前に持ち出し、祈りました。その時、主は私に語ってくださいました、「**愚かな人よ、神が人と成り、人が神と成らなければ、キリストのからだの建造はあり得ない**」。私は、リー兄弟の務めの最後の頃の祈りを思い出しました。彼は次のように祈っていました、「**主よ、私のキリストを生きない罪を赦してください。私は日常生活のある場面で、キリストを生きていませんでした。この故に私は悔い改めます**」。私は次の事を理解し、宣言しました、「**主よ、私は栄光化されるまで、肉の故の弱さや失敗を持っている。しかし、私はその都度、悔い改め、神聖な啓示の高嶺に戻ることができる。この真理に戻り、実行しない限り、神のエコノミーのゴールであるキリストのからだの建造はあり得ない。私自身の問題も、聖徒たちの問題も、それらの解決はいつも、『神が人と成り、人を神格においてではなく、命と性質において神とする』である。その他の解決はあり得ない**」。その後、私はサタンが攻めてきても、次のように応じました、「**神の言葉は天地が過ぎ去っても、過ぎ去ることはない。私は聖書に基づいた真理の高嶺について、おまえと話すことはなにもない。私は聖書の中のこのダイヤモンドを受け入れ、実行し、キリストのからだを建造する。悪魔サタンよ、私から退け!**」。**1ペテロ1:24**「すべての肉は草のようで、その栄光はすべて草の花のようだ。草はしおれ、花は散る。**25**しかし、主の言葉は永遠に存続する」。これが、あなたがたに福音として宣べ伝えられた言葉です。このような祈りにより、私の生活と奉仕は、主の中で大いに強められました。